

「SGHアカデミックツアー」3/4~3/12 (ウィスコンシン大学研修報告)

グローバルバディプログラム

3月9日(水)ポストンから飛行機でシカゴに降り立ち、バスで4時間ほど移動した後、ウィスコンシン大学オシュコシュ校に到着しました。企画・運営して下さった Sarah さんとは6月に英語教室で交流をして以来の再会で、とても嬉しかったです。オシュコシュはとても寒く、昼間の気温が-9℃でした。8名のグローバルバディが私たち6名の活動をサポートしてくれました。



寒さと緊張から初めはなかなか積極的に話すことができませんでしたが、バディの学生はとても優しく、私たちも徐々に自分から話しかけるようになっていきました。

研究プレゼン・模擬国連

2日目は水(木山・山田)、医療(岡野・藤本)、平和(赤井・平井)に分かれ、研究テーマと関連する授業でプレゼンテーションを行いました。学生や教授から鋭い質問も飛び、新たな知見を得ることができました。『なぜその研究が大切なのか』という根本的なところを多面的に考えることができました。

夕方からはシンガポールでも経験した模擬国連を大学内で行いました。一人一人が国の代表として、乳幼児死亡率についての解決策を議論しました。33名の学生のサポートを受けながら6人全員が決議案をスピーチし、大変有意義な時間となりました。「日本でもやりたい!」との感想もでした。



大学3・4年生へプレゼン



模擬国連決議案スピーチ

3日目は私たちの課題研究レポートをグローバルバディにマンツーマンで添削していただき、さらに多くの示唆を得ることができました。また、日本の伝統である和太鼓の授業にも参加し、日本の文化に興味を持つアメリカの学生が多いことに感激しました。寮生活やバイキングの朝食など留学気分を味わいました。



この経験をもとに、7月の最終発表にむけて英語論文を作成していきます。